



働き方改革や組織の拡大・強化にむけて 兵教組第155回定期大会



発行所 神戸市中央区中山
手通4丁目10-8
兵庫県教職員組合
発行人 兵庫県教職員組合
代表者 森 戸 卓 也
編集人 福 山 香 織
電話 050(3538)2346
1部15円 年定価360円
(組合員の購読料は
組合費の中に含む)

2025/3・15
No. 2113

・第16回青年事務職員実践講座
・人権教育ひょうご春季学習会
・24年度兵教組社会貢献事業

年度末・年度当初の当面する運動の展開を決定

3月4日、ラッセホールで兵教組第155回定期大会を開催した。24年度の運動の総括と、年度末・年度当初の当面する運動の展開、25年度兵教組役員等について、決定・信任された。



24年度の経過等が報告され、協議事項が提案された。会場からの質疑・討論では、教育研究活動や働き方改革、定数改善、政策・制度要求実現、組織の拡大・強化、専門部の課題解決にむけたとりくみ等について発言があった。24年度の運動の総括と当面する運動の展開等、協議

森戸委員長は討議に供する素材として、次の3点について述べた。
学校における働き方改革
現在の学校現場は、不登校の子どもの増加や、家族を頼れないなど支援を必要とする子どもの増加、そして教職員未配置、過労死ラインにある「教職員の働き方」など、課題が山積している。昨年末、政府予算案閣議



森戸中央執行委員長
あいさつ(要旨)

決定前の文科大臣と財務大臣の折衝では「給特法および教職調整額のあり方について、幅広い観点から諸課題の整理をおこなう」とされたが、その期限も設定していない。また諸課題の整理もされていない状況で、今通常国会で給特法改正の議論がすすめられる。閣議決定された給特法改正の内容は、私たちがもめる働き方改革からほど遠いものとなっている。

日教組「みずおか俊一」参議院議員をはじめとする日政連議員と連携をはかり、実感できる働き方改革・持続可能な学校の実現にむけて、学校現場の実態をふまえた教育施策への転換と教育諸条件整備をもとめてとりくんでいく。そのことにより子どもが安心して学べる環境が保障され、その上に立って私たちが子どものゆたかな学びと育ちにつなげていかなければならない。

第27回参議院議員選挙 昨年の衆議院議員解散総選挙の結果を受け、衆議院での国会風景が変わった。しかし、参議院では与党が過半数を握っている状況は変わっていない。政権交代こそが最大の政治改革であることを再認識し、7月執行予定の参議院議員選挙にとりくまなければならない。「みずおか俊一」さんの人柄・これまでの実績、政策をいかに一人ひとりに浸透させ、投票行為に結び付けることができるかという従来からの課題を克服していくことが重要である。今一度、私たち教職員にとりて、政治に無関係ではない、政治に関係する人ひとりが自覚し、「教育の議席」を守るため、比例代表候補予定者・兵教組出身・「みずおか俊一」さんの必勝にむけて、組織の総力をあげてとりくんでいこう。

組織拡大・強化について 兵教組・各地域組合は、「アクションプラン」をもとに例年以上のとりくみをすすめてきた結果、新規採用教職員・過年度未加入者ともに昨年度を上回る加入となっている。しかし、加入者数が減少数を下回る組織人員となっている。「加印支部再建35周年」の節目の年の開催となる東播教組定期総会で、20年前に豊岡で一緒の学年をくんだ同僚と出会った。異動後も組合員として、分会長も担い、この度執行委員を受け持つことにしたと聞いた。「分会の中で組合について話をする」とはなかなかできないが、兵教組・東播教組が勝ち取った権利を組合員に入らず、後ろめたさも感じず行使するのはおかしいという想いが根底にあり、私のできる範囲のことをやることができると思っている。

兵教組は、引き続き「参加・提言・改革」の運動のもと、各地域組合・分会・専門部の皆さんと連携し、教育研究活動の充実、教育予算の拡充、教職員の生活

改善、協力・協働の関係が深まる職場づくり、組織の拡大・強化に先頭に立ち、とりくむ決意である。

お詫びと訂正 1月15日(No.2109)号「文教科学委員会」の記事において、みずおか俊一参議院議員の当委員会で質問の様子を視聴できるYouTube動画の二次元コードを誤って掲載していました。お詫びして訂正いたしました。なお、兵教組HPに掲載している「教育ひょうご」には訂正版を反映しています。

みずおか俊一 YouTube 公式チャンネル (https://www.youtube.com/c/参議院議員みずおか俊一)



梶原日教組中央執行委員長

学校の働き方改革について、定数改善、業務削減、給特法の抜本的見直しの3本柱を日政連議員と連携を密にとり、国会の場でもとめていく。働き方改革の推進には「みずおか俊一」さんの力が不可欠であり、より一層の支持拡大をお願いしたい。また組織の力、組合の力も必要である。各分会での組織拡大・強化をめざしてほしい。ともにがんばっていこう」と述べた。



2月15日、滋賀県琵琶湖で第59回日教組近畿ブロック養護教員部交流学習会が開催され、近畿各単組から多くの組合員が参加した。兵教組より61人が参加した。

清原勝滋賀県教組執行委員長のあいさつ後、安村美代日教組養護教員部長より中央情勢の報告がおこなわれた。午後からは、清水美春さん(びわこんどーむプロジェクト代表)より、「学校「性教育」の再定義―子どもたちのwell-beingを育む視点から―」と題した講演があった。続いて「養護教員部」とりくみについて「みずおか俊一」参議院議員参加のもと、グループ協議をおこない、仲間たちとのつながりを深めた。

第59回 近ブ口養護教員部交流学習会

第38回学校給食を考える集い 2月14日、兵教組栄養教員部は「第38回学校給食を考える集い」をラッセホールで開催し、各地域組合から栄養教員をはじめ、約60人が参加した。

開会行事の後、高井紀子さん(株式会社明治 食育担当・管理栄養士)による「食育の充実をめざして」(株)明治の食育セミナーから学ぶ」と題した講演がおこなわれた。

中学生対象の食育出前授業「成長期の運動と食事」を中心に、「成長期は、食事・運動・睡眠が大事である。食事には糖質とともにタンパク質、カルシウムが必要である。朝食にタンパク質をとると脳の働きが向上し、カルシウムは骨粗しょう症を防ぐ。学校では給食一人前はしっかり食べるべき」とこれまでの実践をもとに語った。

栄養教員部は、安全・安心でおいしい学校給食の充実と、学校給食を生きた教材として学校における食育推進にとりくんでいる。県内各地で、食物アレルギー対応をはじめ、地域・家庭・保護者と連携した学校給食の重要性がますます高まっている。

企業が食育にとりくんでいることを初めて知った。商品開発やアスリートへの食育のサポートなどで蓄積された見識を、学校にも教えてほしい。朝食の欠食率は市内でも課題となっている。指導に活用できるデータやチェックシートがたくさんあり、大変勉強になった。ただ朝食をとるだけではなく、「何をどのように」とるとよいのか、「なぜ朝食が大切なのか」を、様々な家庭環境の子どもたちの成長につながるよう、朝食指導を系統的におこなうか、ヒントになった。

高井紀子さん

第16回 青年事務職員実践講座

青年事務職員としての力量を高めるために

2月28日、ラッセホールで第16回青年事務職員実践講座が開催され、県内各地域組合の事務職員約40人が参加した。

事務職員部では、若い世代間での交流をおこない、先輩事務職員の現場実践や事務職員部運動を学ぶとくみとして、毎年、この講座を実施している。次世代の事務職員部を担うリーダーを育成するとともに、青年事務職員としての力量を高める目的で開催している。

講座Iでは、元学校参事の長村美智予さんによる講演がおこなわれ、組合が要望することで実現できた兵庫の事務職員研修制度の歴史が語られた。



講座Iの様子

講座IIでは、「私がめざす事務職員と事務職員に必要な視点とは」をテーマにグループワークをおこなった。日頃の実践や悩み



講座IIの様子

等の意見交流、講座Iの振り返りを通して、同世代の事務職員の職務への関わりについての意見交換や学校運営チームの一員としても求められる視点・考え方を「めざす事務職員像」について考える機会となった。

参加者感想

講座I

・今まで知らなかった組合の歴史や活動を知る良い機会になった。改めて自分たちの立場を守るために活動しているという実感を覚えることができた。

・講演を聞き、組合員という当事者意識が高まった。

・事務職員の職務内容、研修制度の確立など今まで当たり前だと思っていた仕事を振り返ることができた。これは当たり前ではなかったのだと気づくことができた。

・今後どのような事務職員になりたいか考えるきっかけとなった。

・事務職員ができることとして、職員作業をすることなど提案をしていくことの大切さを学んだ。積極的に提案していき

講座II

・自分の地域と他の地域で事務処理の方法や抱えている問題がかなり違うというのを知ることができた。

・異動の経験もなく一人職ということもあり、仲間と交流することで自分の業務の仕方が凝り固まっていたことに気づけた。

・学校にいると自分だけがこんなことで悩んでいるのではという気持ちになったが、仲間の悩みを聞き心が軽くなった。

・その他に「今後も青年事務職員実践講座を継続しておこなってほしい」、「怒りは原点、問題は見逃さない」という視点がすべての組合員に広がってほしい」という意見・要望があった。

人権教育ひょうご春季学習会

性教育は生教育より健康で豊かに生きるために

2月16日、ラッセホールで人権教育ひょうご春季学習会が開催され、各地域組合より33人が参加した。西村恭介さん(人権教育ひょうご代表委員・兵庫高等学校教職員組合執行委員長)のあいさつの後、柳谷和美さん(おやこひろば桜梅桃李代表)による「人権教育としての包括的性教育」性暴力・DV・虐待被害当事者の視点から」と題した講演がおこなわれた。



講演の様子

参加者感想

・人権の学習会で性教育をテーマにした講演を聞くのは初めてで新鮮だった。被害者の苦悩や包括的性教育の大切さがわかった。

・日本は他の国に比べて性教育が遅れていると聞く。柳谷さんの話を聞いて、改めて正しい知識を子どもに伝えることが大事だと思った。

・当事者だからこそ伝えら

れる話が聞けて、学びになった。また参考文献もたくさんあり、客観的な視点で学ぶこともできた。

・「性」についての教育、いざというときに「助けて」や「困っている」と言える環境づくりの大切さなど、改めて考えるきっかけとなった。

・子どもへの性教育は難しいと考えていたが、未就学児から適切で包括的な性教育をおこなうことで自分自身はもちろん、他者を尊重できる人権教育となると学習できた。

・被害に遭われた方は乗り越えたわけではなく、その事柄とともに生きていくという言葉が心に残った。一人ひとりが大切にされ幸せに生きていくために、相手に思いやりをもって接することを改めて意識したい。

心のパレット

南あわじ市・洲本市組合立広田中学校
2年 佐古 七海

私の感情はまるで絵の具のようだ
喜んで悲しんで
何回も繰り返している
しかし
悲しみに落ちてから喜びに戻れるのは
きつと家族や友達のおかげだ
みんなのおかげで
私の感情に赤や黄色が追加される
きつと意識していかない
彼らは意識していない
何気ないことばで私を明るくしてくれる
しかし喧嘩やすれ違いで
青や紫も追加されるが
きつとそんな時もないと成長できない
きつと前に進む勇気が出ない
私は
彼らの感情を完璧に理解できない
きつと
彼らも私の感情を完璧に理解できていない
そうと知っていても
寄り添い合いそばにいる
だからこそ混ざり合った方が
よっぽど綺麗だと思う

『こどもの詩と絵 第44集』より

24年度兵教組社会貢献事業

「車椅子支援事業」2人

「児童養護施設等支援事業」1施設に寄贈

兵教組は、(公財)日本教育公務員弘済会兵庫支部、(二財)兵庫県学校厚生会、(株)Lasse Hallとの共催で、「車椅子支援事業伊丹・豊岡」(児童養護施設等への支援事業(豊岡)寄贈式をおこなった。

寄贈式は、施設等とのつ

なかりを大切に、より多くの協賛金賛同者に参加してもらいたいという観点から、該当地域組合で開催した。

今年度は、車椅子2台を寄贈し、児童養護施設等支援では、「ドーナツこども食堂」の1施設に支援をおこなった。



兵教組は、1979年度より障害児(者)との連携をはかるため、障害児(者)施設へのマイクロバス等の寄贈事業をすすめてきた。1983年度からは、車椅子の寄贈もあわせておこなっている。

また、2007年度からは兵教組「教育文化・社会貢献事業」として発展的に見直し、多くの教職員や退職者等賛同者からの協賛金に支えられ、子どもたちへの就学支援事業等を推進している。

「ともに生き、ともに学ぶ」インクルーシブな社会をめざして、これらの支援事業が皆さんの生活に少しでも役立てられることを願い、今後もこの事業の趣旨、これまでの経緯をふまえ、兵教組教育文化・社会貢献事業の充実と発展をめざしていく。

つきつと協力の協力を願っています。

<https://www.kyousyokuin>

「補償は見直しですが
大切です」

ご自宅の補償を
見直しませんか?



こんな方は
特に見直しをオススメします!
今、加入している保険(共済)について

01 保険料(掛金)が値上がりした

02 住宅ローンが完済となり
満期がくる

03 加入したときそのまま
ほったらかしにしている

この機会に「教職員共済」へ
ご相談ください!

火災共済
住宅災害等給付金付火災共済
自然災害共済

お問い合わせも
お気軽にどうぞ!

詳しくは
こちら!



資料請求・お問い合わせ

厚生労働省認可
教職員共済生活協同組合 兵庫県事業所

〒650-0004 兵庫県神戸市中央区中山手通4-10-8 ラッセホール4F
TEL:078-221-9730【平日9:00~17:30】

※ご契約にあたっては必ずパンフレットおよび重要事項等説明書(契約概要・注意喚起情報)をご覧ください。